

令和7年度「若手研究者育成プログラム」採択研究課題について

若手研究者育成プログラムは、博士後期課程在学中の大学院学生に研究費を申請する機会を提供することにより、各学生が、研究計画調書の執筆から研究費のマネジメントまでの一連のプロセスのなかで若手研究者としての意識を醸成し、わが国および世界の将来を担う研究者へと育てていくための、キャリアアップ支援の提供を目的としたシステム情報工学研究群/科独自のプログラムです。

【審査結果】

申請者：10名 採択者：8名

【採択研究課題】

番号	所属	学年	氏名	研究課題名
1	社会工学学位プログラム	3	毛 晨丁	因果構造に基づく多目的スケジューリングのための二重最適化フレームワークの構築と評価
4	リスク・レジリエンス工学学位プログラム	2	渡邊 雄太	企業のDXを多面的に評価する新しい枠組みの開発：有価証券報告書を用いた実証研究
5	リスク・レジリエンス工学学位プログラム	1	BAKHI ABDELHAKIM	Interaction-Aware Navigation of Automated Shuttle Buses at Mixed Traffic Shared Space Environments
6	情報理工学位プログラム	3	大森 雄基	ユーザ定義述語を用いた知識ベースと外部情報源の統合モデルおよび問合せ環境の研究
7	情報理工学位プログラム	1	小林 賢太郎	計算効果の合成とその表現力に関する圏論的解析
8	構造エネルギー工学学位プログラム	3	曲 同歆	スポーツ用具開発のための非対称性を考慮した異方性材料モデルの開発
9	構造エネルギー工学学位プログラム	1	Li Zihao	Breaking the Accuracy-Cost Barrier in Particle Drag Prediction: A Machine Learning Approach
10	構造エネルギー工学学位プログラム	1	Nguyen Nam Quoc	Theoretical and numerical analysis of viscoelasticity of lipid monolayers under high strain-rate oscillatory loadings

【参考：本プログラムの概要】

1 申請資格

若手研究者育成プログラムに申請することができる者は、以下の条件をすべて満たす者とする。

- (1) システム情報工学研究群/科の博士後期課程に在学する大学院学生
- (2) 指導教員から指導助言・研究時間・研究スペース等の支援が得られる者
- (3) 日本学術振興会の特別研究員に採用されていない者
- (4) 学内外を問わず、他の同種の研究助成金の受給を受けていない者
- (5) 過去に本プログラムの支援を受けていない者
- (6) 本プログラムの支援期間中に休学を予定していない者

2 審査方法

システム情報工学研究群/科に設置する審査委員会が、書面審査の結果に基づいて採択研究課題を決定する。

3 採択件数及び金額

5件程度を目安とし、一件あたり30万円を限度とする。